

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第10週
(3月3日～3月9日)

- * 2014年3月12日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「インフルエンザ2014年1月現在」も
記載しています。

平成26(2014)年3月13日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年10週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	52	78	55	71	567	367	3,821
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢			1		3	3	16
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1		3	5	62
	腸チフス	1			1	5	2	9
	パラチフス					1		1
四類	E型肝炎	1	1	1	1	7	3	25
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1			4	8	48	165
	エキノコックス症							2
	黄熱							
	オウム病					1		1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						1	3
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病				1	2		26
	デング熱	2	1			8		18
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)							
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱							3	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症				1	1	1	3
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症						1	1
	マラリア	1	1	1		3		9
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2		1		19	14	187
	レプトスピラ症							3
	ロッキー山紅斑熱							
2014/3/12集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 71件 肺結核 35件、その他の結核 5件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 26件、疑似症 3件、年齢は5歳未満 2件、20代 17件、30代 8件、40代 6件、50代 10件、60代 7件、70代 9件、80代 12件、推定感染地は国内 69件、中国 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

腸チフス 1件 患者、年齢は70代、推定感染地はインドネシア、推定感染経路は経口感染(ジャカルタの飲食店)であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

A型肝炎 4件 患者、年齢は30代 1件、40代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は経口感染 4件(カキ 2件、サラダなどの生もの 1件、白子のてんぷら、1件)であった。

つつが虫病 1件 患者、年齢は70代、推定感染地は国内であった。

ブルセラ症 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は中国、推定感染経路は動物・蚊・昆虫(ネズミ)からの感染であった。吉林省の自宅で家畜を飼育している。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年10週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	3	5	8	34	10	167
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2		4		10	2	42
	急性脳炎 *1	1	1	2	2	12	8	111
	クリプトスポリジウム症	1				3		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				1	2	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	2	12	4	47
	後天性免疫不全症候群	8	13	13	8	87	23	240
	ジアルジア症	2				2	1	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2					4	3	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2					1	1	11
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	5	2	2	2	40	20	367
	先天性風しん症候群			1		3		7
	梅毒	6	4	10	10	77	14	239
	破傷風				1	4	1	14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	2	1	8
	風しん	1	5	5	5	27	6	94
麻しん	1	2	8	8	27	23	172	
2014/3/12集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 8件 腸管 6件、腸管及び腸管外 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 2件、50代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 6件、インド 1件、国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、経口感染 4件、その他(不明) 2件であった。

急性脳炎 2件 病原体はインフルエンザウイルス 2件、年齢は30代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 A群 1件、G群 1件、年齢は80代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件(先行する上気道炎の後、肺炎となった)、その他(不明) 1件であった。

後天性免疫不全症候群 8件 無症候キャリア 6件、その他 2件、年齢は20代 1件、30代 2件、40代 4件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 5件、異性間 2件、両性間 1件)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 血清型は未実施 2件、年齢は60代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、その他(不明) 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

梅毒 10件 早期顕症梅毒 I 期 2件、早期顕症梅毒 II 期 5件、晩期顕症梅毒 1件、無症候梅毒 2件、年齢は20代 5件、30代 1件、40代 2件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 3件、異性間 4件、性別不明 1件)、その他(不明) 2件であった。

破傷風 1件 臨床決定、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染(両上肢、左下肢に凍傷)であった。

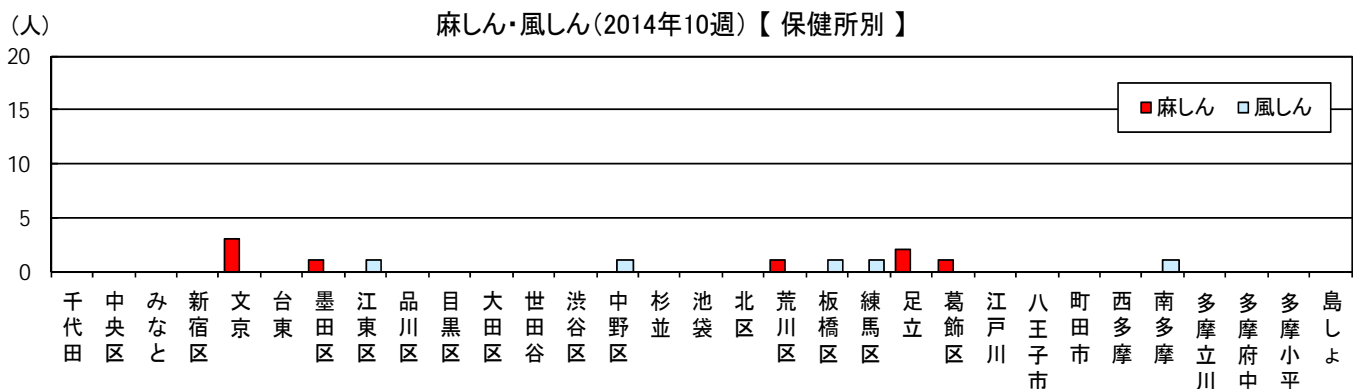
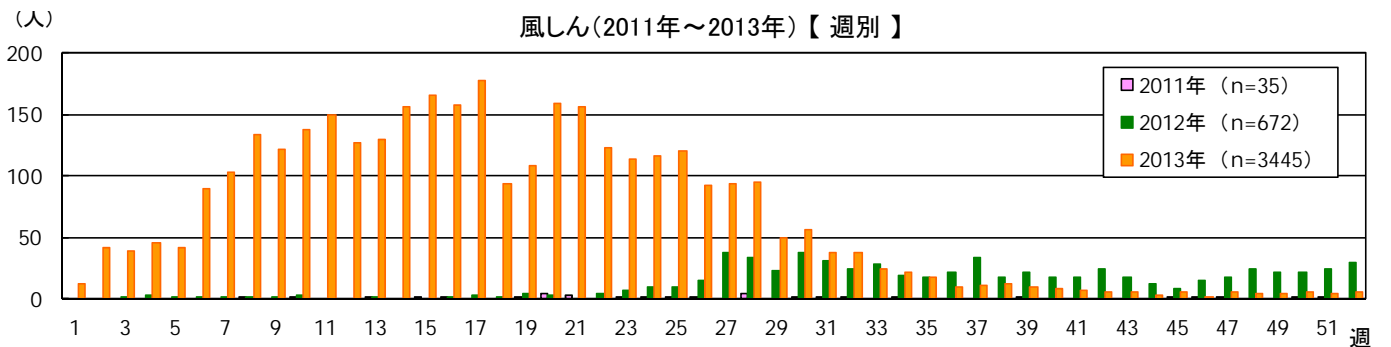
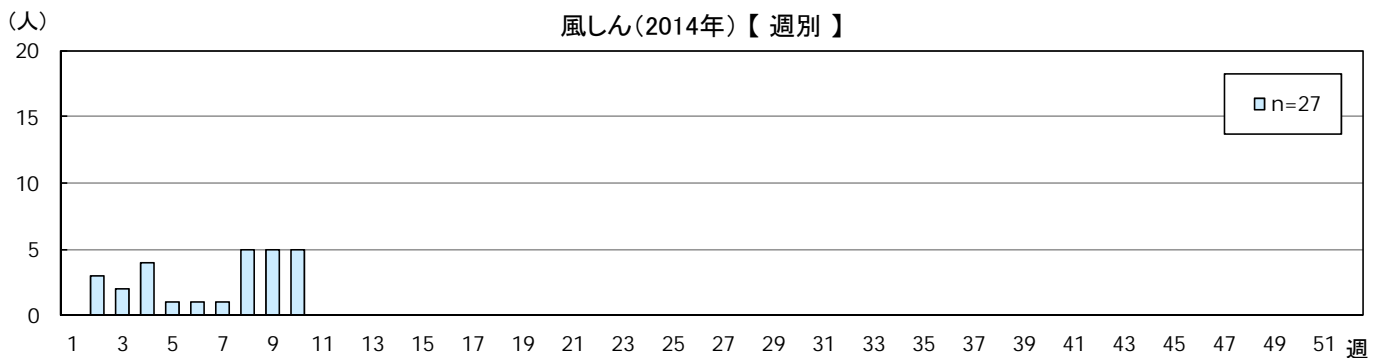
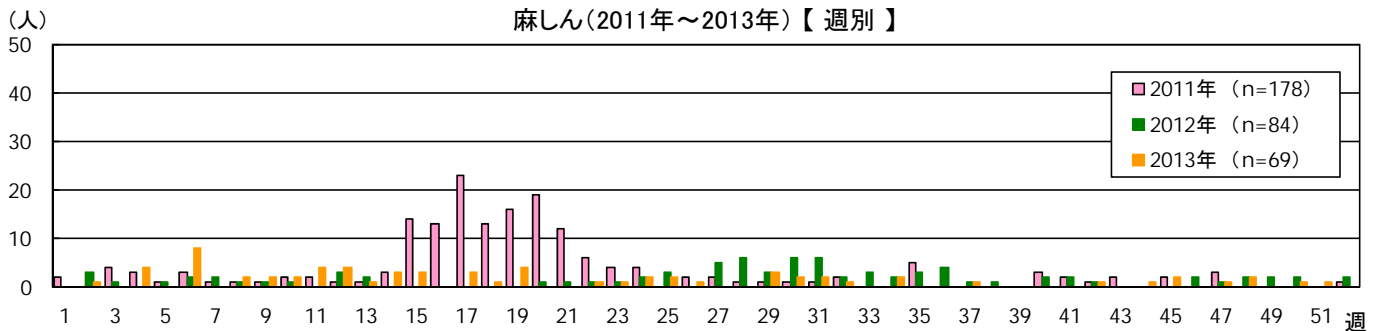
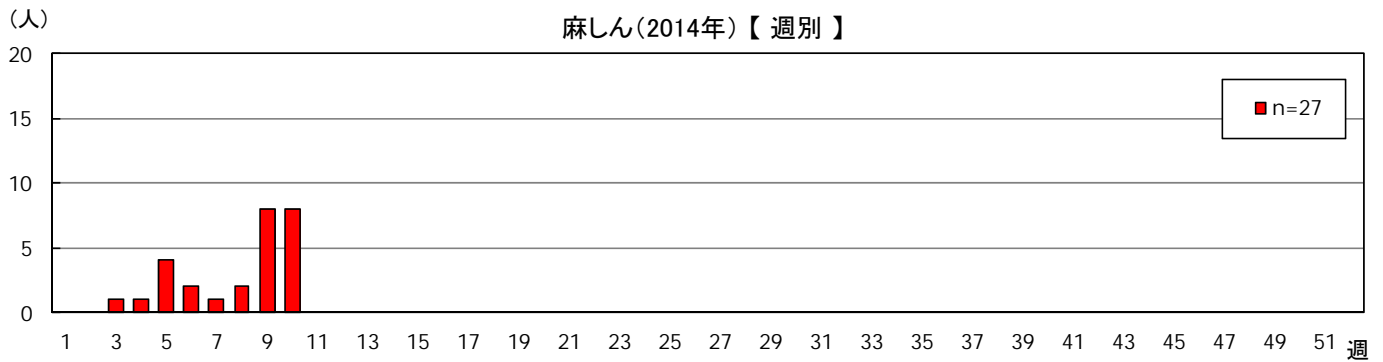
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型未実施、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

風しん 5件 検査診断例 5件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、接触感染 1件、その他(不明) 2件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、接種なし 2件、不明 2件であった。

麻しん 8件 検査診断例 7件(B3型 7件)、修飾麻しん 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、30代 5件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、接触感染 2件、その他(不明) 3件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種 2件、2回接種 1件、接種なし 2件、不明 3件であった。

※ 第9週該当分として〔五類〕急性脳炎 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、麻しん 2件(検査診断例 2件、遺伝子検査陽性(B3型) 2件、年齢10歳未満 2件、推定感染地国内 1件、フィリピン 1件)の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年10週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		7週	8週	9週	10週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	38	39	26	34	0.13	260	264
	咽頭結膜熱	40	34	47	44	0.17		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	374	541	631	584	2.25		
	感染性胃腸炎	1,353	1,528	1,531	1,272	4.89		
	水痘	184	192	204	215	0.83		
	手足口病	16	9	12	11	0.04		
	伝染性紅斑	29	59	47	41	0.16		
	突発性発しん	78	123	103	123	0.47		
	百日咳	6	2	3	3	0.01		
	ヘルパンギーナ	4	3		2	0.01		
	流行性耳下腺炎	34	33	20	29	0.11		
	川崎病 *1	2	3	5	4	0.02		
不明発しん症 *1	10	19	7	15	0.06			
インフルエンザ	インフルエンザ *2	11,743	11,911	11,973	9,419	22.75	414	419
眼科	急性出血性結膜炎						38	39
	流行性角結膜炎	11	11	11	15	0.39		
基幹	細菌性髄膜炎 *3				2	0.08	25	25
	無菌性髄膜炎	3		1	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	4	3	3	5	0.20		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	1	2	1	0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	2	2	9	4	0.16		
	インフルエンザ入院	38	42	49	35	1.40		
2014/3/12集計								

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

・インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、警報状態が続いている。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

世田谷

・ロタウイルス 1歳児 2名、マイコプラズマ 6歳児 1名

池袋

・ヒトメタニューモウイルス 6名

荒川区

・ヒトメタニューモウイルス 5名、ロタウイルス胃腸炎 2名、アデノウイルス胃腸炎 1名、マイコプラズマ肺炎 1名、アデノウイルス咽頭炎 1名

・病原性大腸菌 O1 1名、カンピロバクター 5名

板橋区

・ノロウイルス胃腸炎 40代 1名

足立

・ロタウイルス・アデノウイルス同時感染 10か月児 1名

八王子市

・アデノウイルス咽頭炎 8か月児、1歳児 各1名、ロタウイルス胃腸炎 11か月児 1名

・ノロウイルス胃腸炎 1歳児 1名

多摩府中

・アデノウイルス 3歳児 1名

多摩小平

・ロタウイルス腸炎 2名、病原性大腸菌 1名、ヒトメタニューモウイルス 8名

※「インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント」は15ページに記載

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年10週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	7		1	8	2			2			
6～11か月	10	4	1	56	6	1	1	42		1	1
1歳	10	7	21	138	26	4		69			
2歳	5	5	26	111	24	1	6	7		1	1
3歳	1	4	46	113	27	2	4	1			3
4歳	1	9	88	118	36	2	4	1			3
5歳		3	87	94	32	1	5				3
6歳		3	75	88	29		8				7
7歳		3	48	70	5		3	1			4
8歳		3	60	56	11		4				2
9歳			28	37	2		4				2
10～14歳		2	68	158	10		2		2		2
15～19歳			11	32							1
20～29歳		1	24	193	5				1		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	34	44	584	1,272	215	11	41	123	3	2	29
先週比	8	-3	-47	-259	11	-1	-6	20		2	9

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1	6							1	1
6～11か月		3	78			1					2
1歳	2	5	265								2
2歳			269								2
3歳	2	1	392		1					2	2
4歳			652					1			3
5歳		1	856		1						2
6歳		2	888							1	
7歳			812					1			1
8歳			672				1				2
9歳		1	616								1
10～14歳		1	1,778					1			2
15～19歳			282								
20～29歳			231								1
30～39歳			542		6			1			
40～49歳			591		6						2
50～59歳			248		1						3
60～69歳			141						1		
70～79歳			68								4
80歳以上			32			1		1			7
合計	4	15	9,419		15	2	1	5	1	4	35
先週比	-1	8	-2,554		4	2		2	-1	-5	-14

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年10週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田				1.67	0.33			0.67			
中央区			1.33	2.33	1.00			1.33			
みなと	0.40		0.40	5.80	0.40		0.20				
新宿区	0.13	0.50	1.38	2.88	0.63	0.50	0.13	0.25			
文京			1.25	3.25	0.50			0.50			0.25
台東			3.25	7.50	1.25			0.25			0.25
墨田区		0.40	1.80	6.40				0.80			
江東区	0.44	0.56	2.56	8.11	1.11	0.22	0.11	0.67			0.67
品川区	0.38		0.38	4.88	0.88			0.75		0.13	
目黒区	0.20		0.40	3.60			0.60	0.20			
大田区	0.23	0.08	2.23	5.77	1.23		0.46	0.69			
世田谷	0.25	0.31	0.94	5.13	1.00		0.44	0.25			0.13
渋谷区			1.00	4.50	0.25					0.25	
中野区	0.14	0.14	1.57	3.14	0.14			0.86			
杉並			0.80	5.20			0.10	0.20			
池袋		0.20	0.80	5.40	0.40			0.40			
北区		0.14	0.86	3.57	0.86		0.14	0.57			0.14
荒川区			1.50	3.50	0.50	0.25		0.50			
板橋区		0.10	0.50	2.90	0.50			0.20			0.10
練馬区		0.08	3.00	5.17	0.58			0.67			0.08
足立	0.23	0.08	1.69	6.85	0.69			0.46			0.08
葛飾区		0.14	2.57	2.57	1.29		0.71	0.43			
江戸川	0.42	0.08	7.25	6.00	1.67		0.08	0.42	0.08		0.25
八王子市	0.09	0.18	6.36	8.18	1.73	0.09	0.18	0.55			0.09
町田市			6.38	8.50	1.63		0.13	0.38			0.75
西多摩	0.25	0.88	1.75	3.75	0.75		0.13	0.13			0.13
南多摩	0.11		2.00	4.78	0.56		0.56	0.67	0.22		
多摩立川	0.07	0.29	4.00	2.71	0.43		0.07	0.29			0.14
多摩府中		0.05	1.30	4.20	1.10			0.60			0.10
多摩小平	0.13	0.33	1.73	4.33	0.93	0.07	0.27	0.67			
島しょ					1.00	2.00					
東京都	0.13	0.17	2.25	4.89	0.83	0.04	0.16	0.47	0.01	0.01	0.11

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田	0.33		12.00								
中央区			12.20								
みなと			14.13								3.00
新宿区			12.75								2.00
文京			17.29		1.00						1.00
台東			14.71								
墨田区			15.25								3.00
江東区		0.11	21.50								
品川区			16.67								
目黒区			7.63								
大田区		0.15	23.05		0.50						
世田谷		0.13	21.76		0.50		0.50			0.50	3.00
渋谷区			11.86		2.00					1.00	2.00
中野区			12.27								
杉並			18.38		1.00						
池袋			17.75		1.00						3.00
北区			17.45		1.00						
荒川区	0.50		25.86		1.00						
板橋区			11.75					2.00		1.00	1.00
練馬区			21.95		1.00						
足立			22.35								
葛飾区		0.14	19.83					2.00	1.00		2.00
江戸川			23.17		1.50						
八王子市		0.55	48.44		0.50						2.00
町田市		0.13	40.77								
西多摩			21.14					1.00		1.00	2.00
南多摩			32.71								
多摩立川			25.52								
多摩府中		0.05	31.06		0.33	0.33					1.67
多摩小平	0.07	0.07	25.83			0.50					0.50
島しょ			36.00								
東京都	0.02	0.06	22.75		0.39	0.08	0.04	0.20	0.04	0.16	1.40

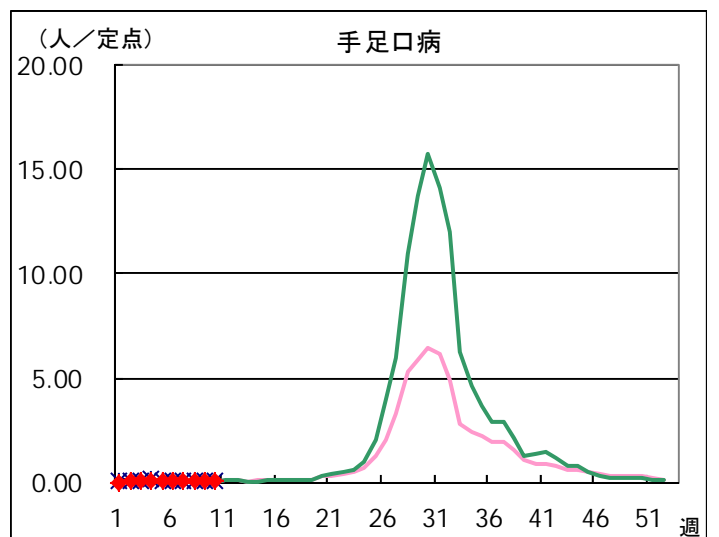
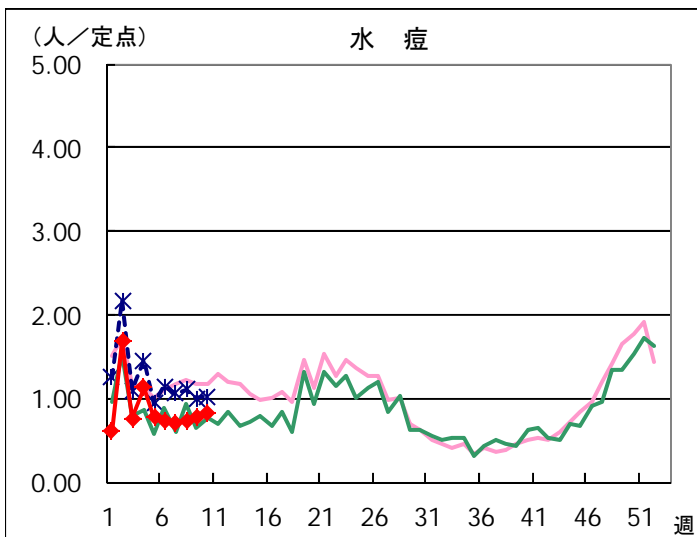
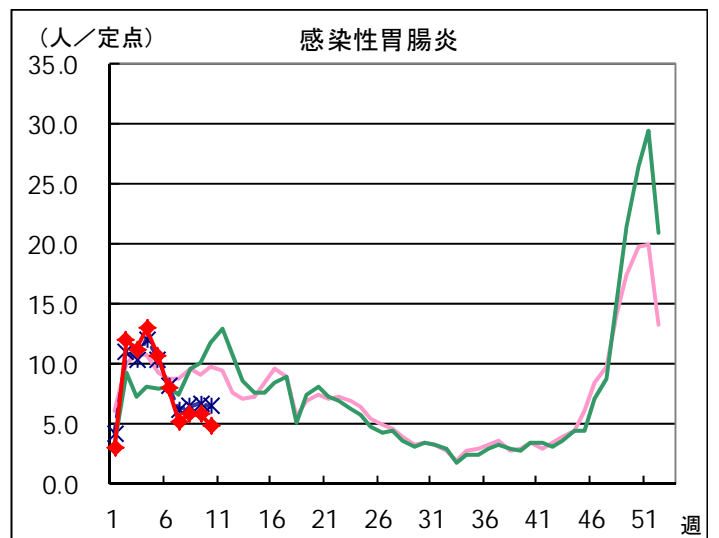
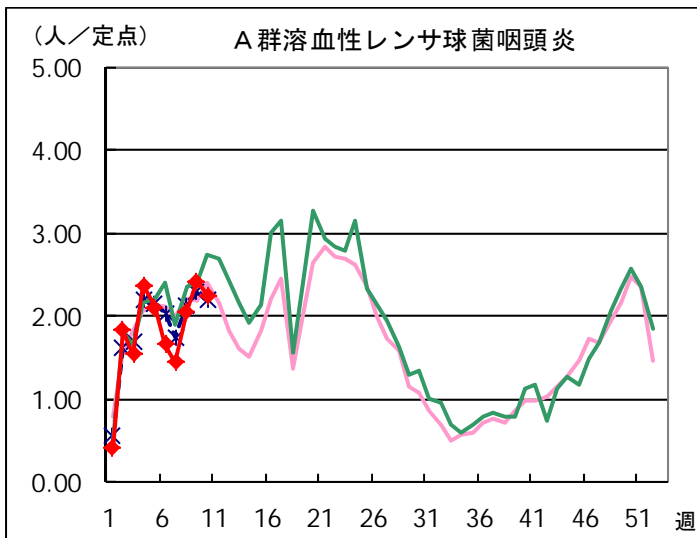
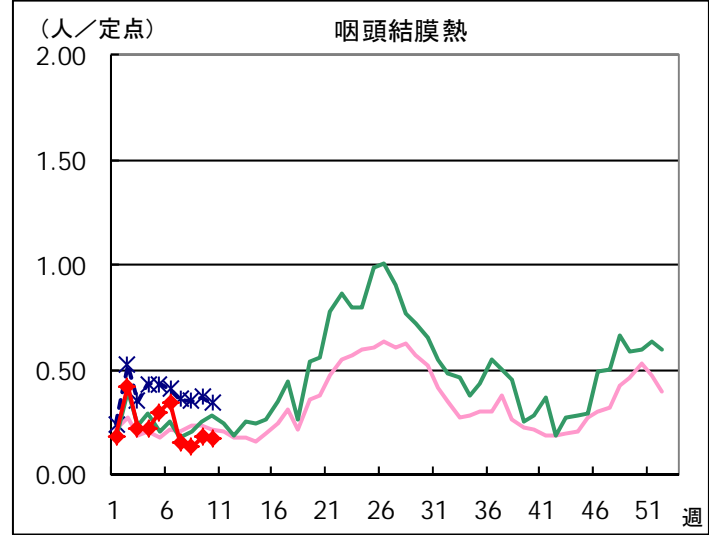
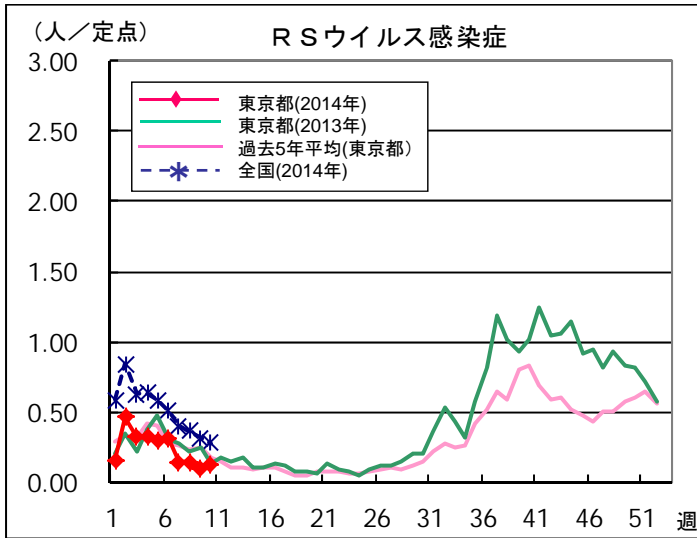
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年10週

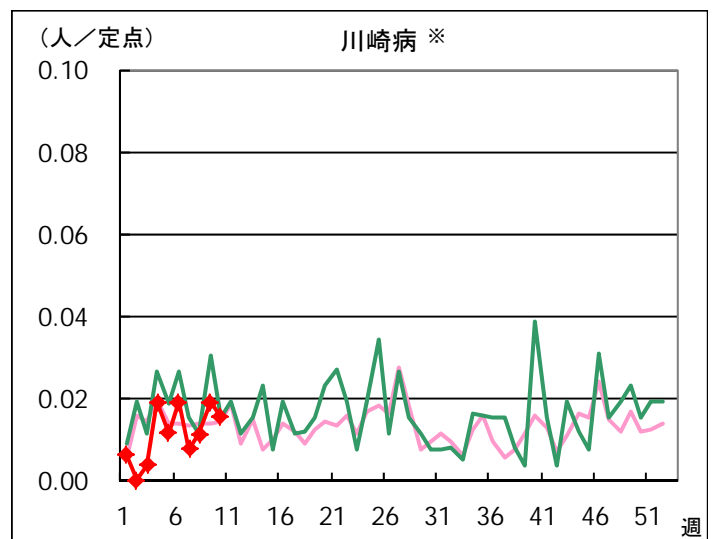
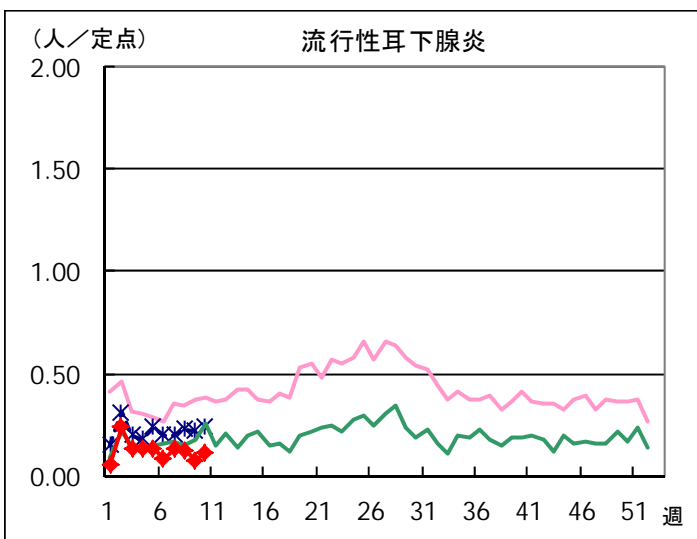
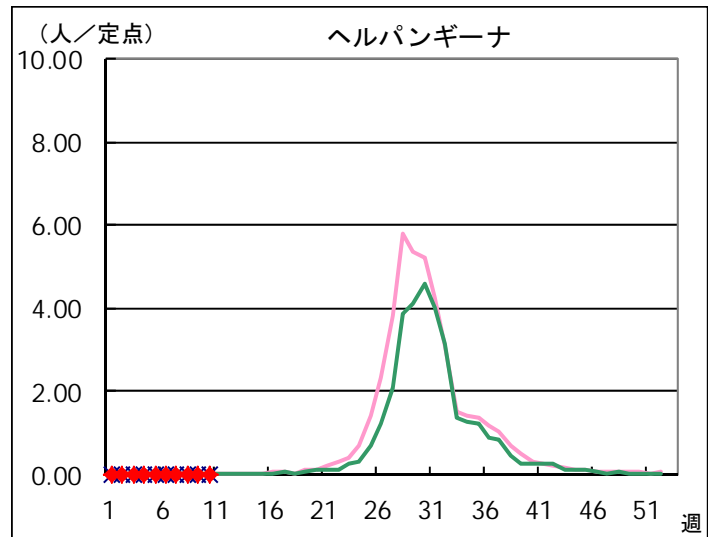
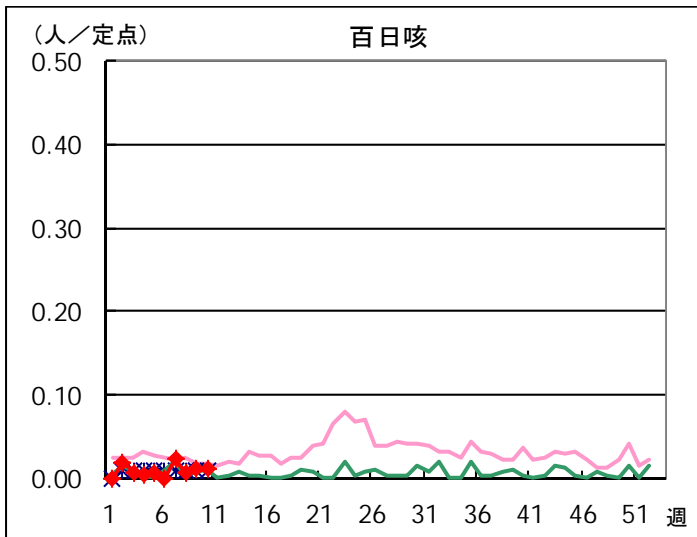
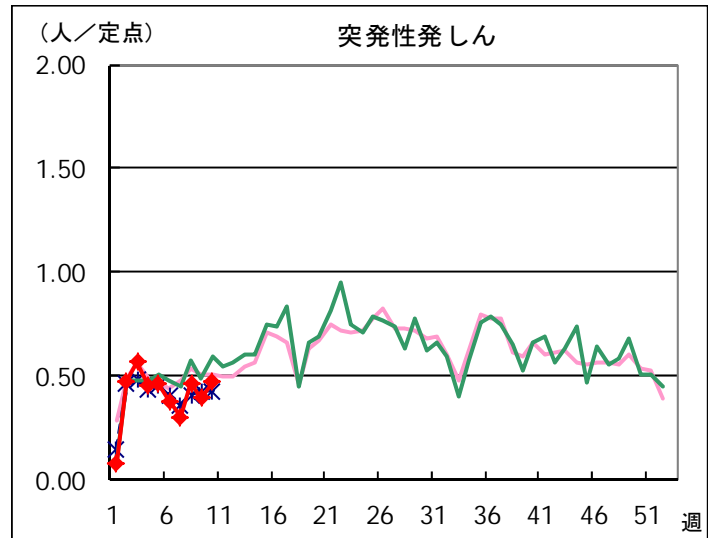
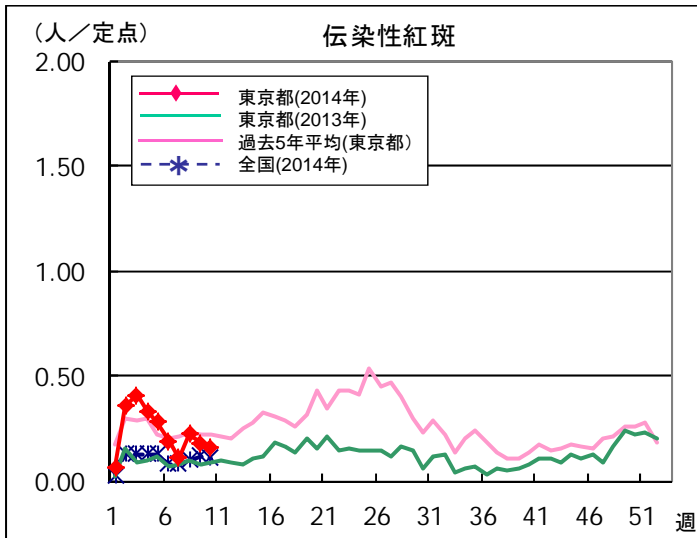
定点種別	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				5	1			2			
中央区			4	7	3			4			
みなと	2		2	29	2		1				
新宿区	1	4	11	23	5	4	1	2			
文京			5	13	2			2			1
台東			13	30	5			1			1
墨田区		2	9	32				4			
江東区	4	5	23	73	10	2	1	6			6
品川区	3		3	39	7			6		1	
目黒区	1		2	18			3	1			
大田区	3	1	29	75	16		6	9			
世田谷	4	5	15	82	16		7	4			2
渋谷区			4	18	1					1	
中野区	1	1	11	22	1			6			
杉並			8	52			1	2			
池袋		1	4	27	2			2			
北区		1	6	25	6		1	4			1
荒川区			6	14	2	1		2			
板橋区		1	5	29	5			2			1
練馬区		1	36	62	7			8			1
足立	3	1	22	89	9			6			1
葛飾区		1	18	18	9		5	3			
江戸川	5	1	87	72	20		1	5	1		3
八王子市	1	2	70	90	19	1	2	6			1
町田市			51	68	13		1	3			6
西多摩	2	7	14	30	6		1	1			1
南多摩	1		18	43	5		5	6	2		
多摩立川	1	4	56	38	6		1	4			2
多摩府中		1	26	84	22			12			2
多摩小平	2	5	26	65	14	1	4	10			
島しょ					1	2					
東京都合計	34	44	584	1,272	215	11	41	123	3	2	29

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症		急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田	1		48								
中央区			61								
みなと			113								3
新宿区			153								4
文京			121		1						1
台東			103								
墨田区			122								3
江東区		1	301								
品川区			200								
目黒区			61								
大田区		2	484		1						
世田谷		2	544		1		1			1	6
渋谷区			83		2					1	2
中野区			135								
杉並			294		1						
池袋			142		1						3
北区			192		1						
荒川区	2		181		1						
板橋区			188					2		1	1
練馬区			439		1						
足立			447								
葛飾区		1	238					2	1		2
江戸川			417		3						
八王子市		6	872		1						2
町田市		1	530								
西多摩			296					1		1	2
南多摩			458								
多摩立川			536								
多摩府中		1	994		1	1					5
多摩小平	1	1	594			1					1
島しょ			72								
東京都合計	4	15	9,419		15	2	1	5	1	4	35

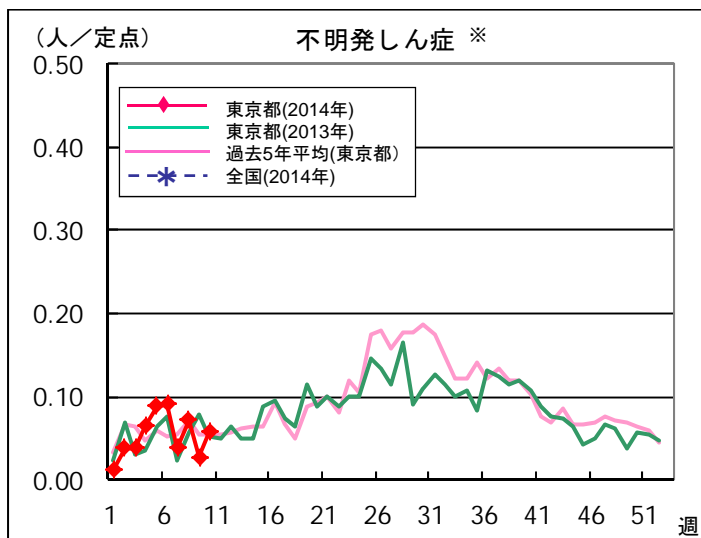
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年10週 現在)

◆ 小児科定点



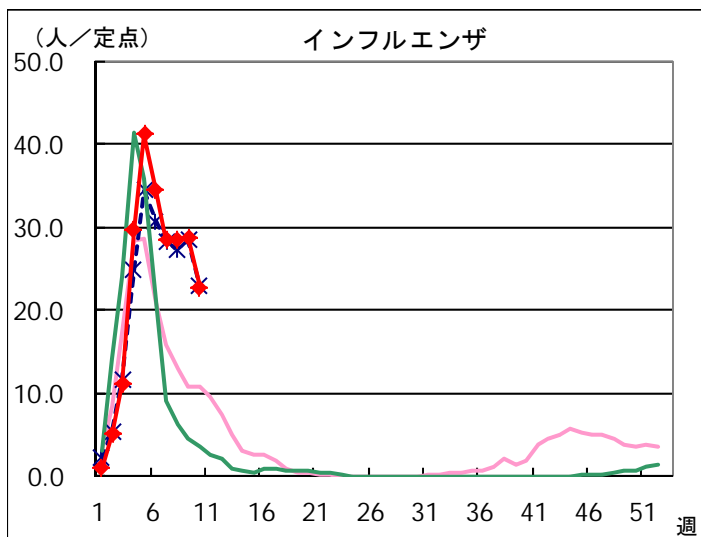


※ 東京都独自対象疾患

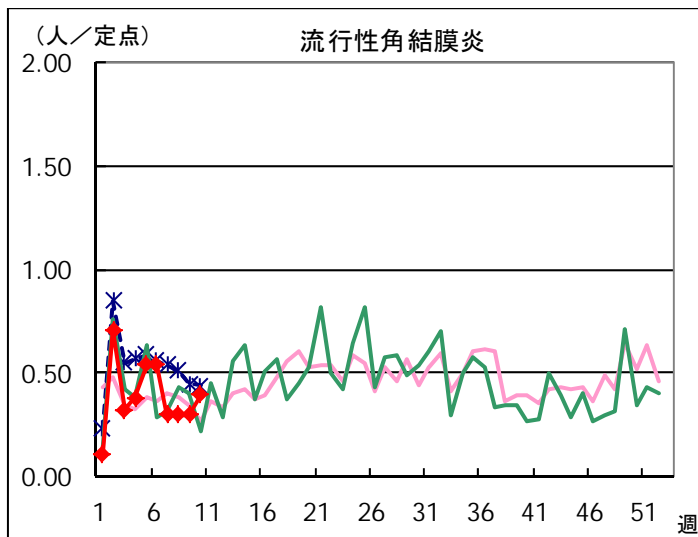
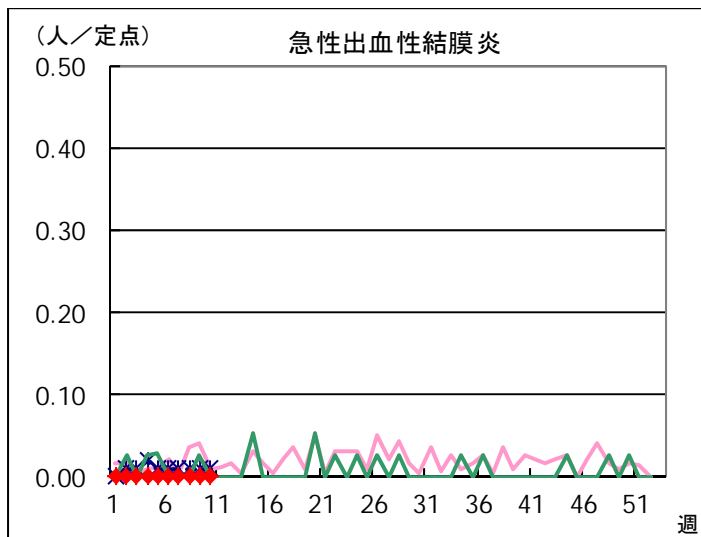


※ 東京都独自対象疾患

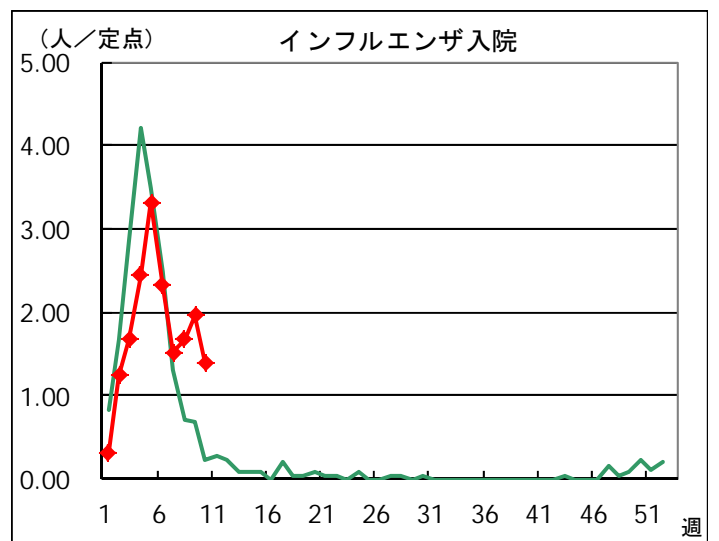
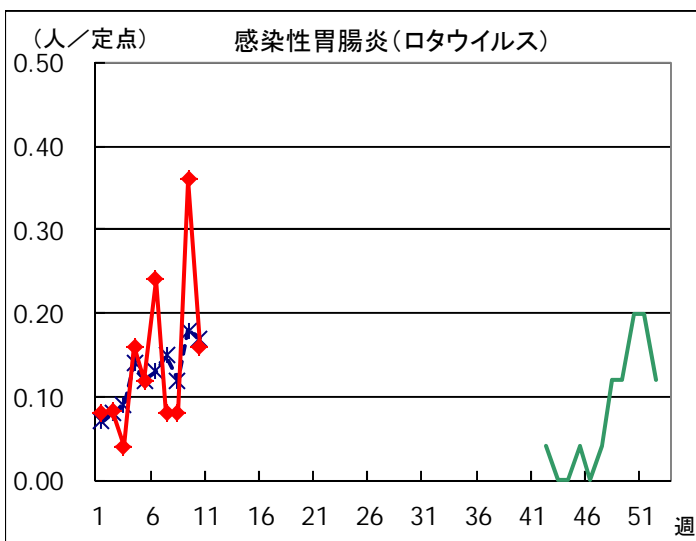
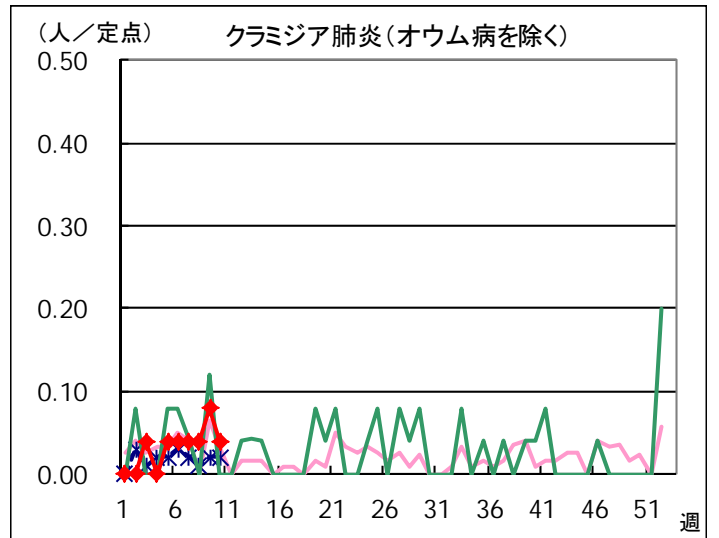
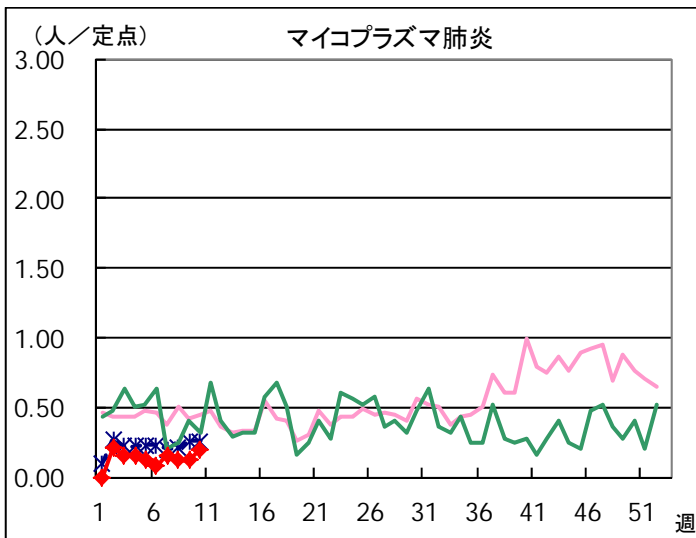
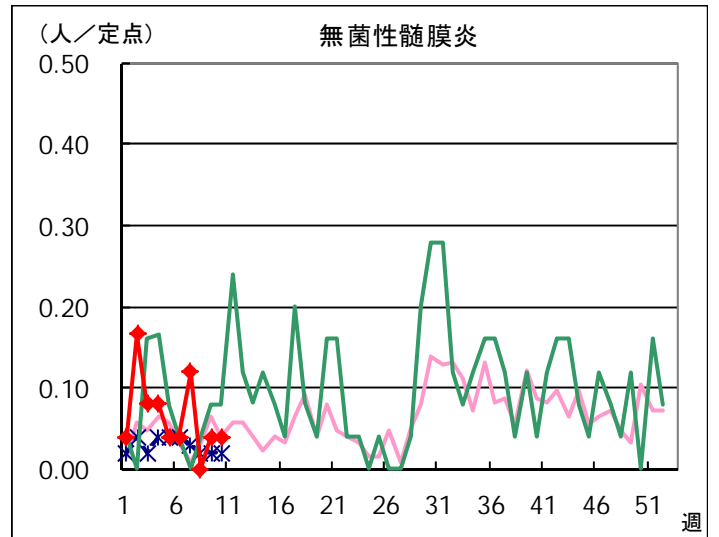
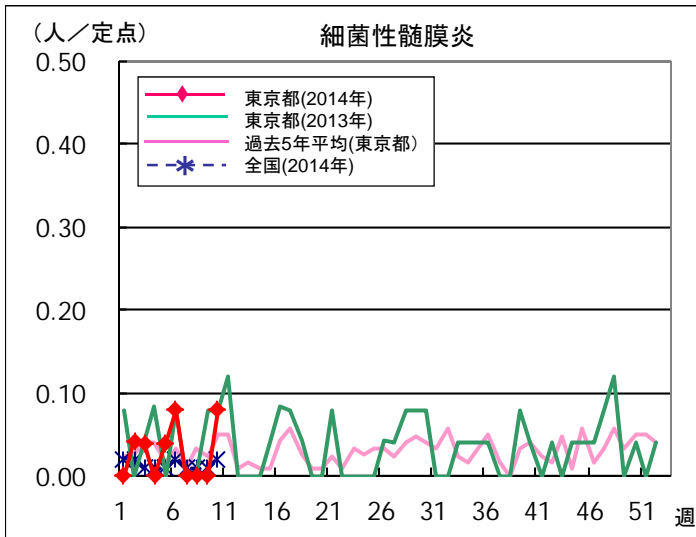
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント

管轄保健所	インフルエンザ 迅速診断結果			医療 *1 機関数	コメント
	A型 *2	B型	記載なし		
千代田	5	4		1	
みなと	7	41		3	
新宿区	5	23	1	2	・AH1pdm09型 3名
文京	12	76		4	
台東	8	43	6	4	・AB同時感染 1名 ・インフルエンザB型感染者14名中、同一保育園の乳幼児10名
墨田区	17	103	3	8	・AH1pdm09型 1名 ・AB同時感染 1名 ・今シーズン2回目の罹患者が増えています。
江東区	42	228		11	
品川区	33	130	7	8	・臨床診断 1名
目黒区	8	43	5	6	
大田区	36	149	24	10	・「A型1名、B型19名」の内、予防接種済10名、未接種10名でした。エリアの小学校など流行が遅く、今になり流行して来ています。
世田谷	27	206	13	11	・AH1pdm09型 1名 ・依然として大流行。B型が多い。 ・B型を中心として、再度ピークです。B型は集団発生が見られません。
渋谷区		9		2	
中野区	24	108		11	・臨床診断 3名
杉並	12	51	8	5	
池袋	4	32	4	2	
北区	33	81	30	6	・インフルエンザB型が圧倒的に多いです。
荒川区	21	104	6	5	
板橋区	1		2	1	・AH1pdm09型 1名
練馬区	31	164		8	
葛飾区	38	176		11	・臨床診断 4名
江戸川	24	156		7	
八王子市	80	665	83	15	・臨床診断 2名 ・臨床診断 3名 ・臨床診断 4名 ・臨床診断 10名
西多摩	33	178		9	
南多摩	47	338	12	12	
多摩立川	6	134	19	6	
多摩府中	31	193	138	13	・AB同時感染 1名 ・臨床診断 6名 ・隣の小学校が学校閉鎖になりました。
多摩小平	48	220	37	11	
島しょ	23	7		1	
総計	656	3,662	398	193	

*1 迅速診断結果の報告があった医療機関数

*2 AH1pdm09型を含む

2014/3/12集計

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/14	頸部リンパ節炎	4M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	遺伝子
2/24	RSウイルス感染症	7M	鼻汁	RSウイルス	
2/21	下痢症	1	糞便	サポウイルス	
2/18	水痘	1	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
2/21	気管支喘息 急性気管支炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
2/1	肺炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス アデノウイルス	
2/23	脳症 急性脳炎	9	咽頭拭い液 直腸拭い液	ライノウイルス	
2/21	伝染性紅斑	10	記載なし	パルボウイルス インフルエンザウイルス B型 ※	
2/24	流行性角結膜炎	35	結膜拭い液	アデノウイルス	
2/24	感染性胃腸炎	59	直腸拭い液	ライノウイルス	

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
9週	7		1	10
2013-2014年 シーズン累計**	142		44	85

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2013-2014シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2014年							
		2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
ウイルス	アデノウイルス	6	4			2	2	1	2
	ライノウイルス	1		3	2	4	1	3	4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71	1	1						
	その他のエンテロウイルス		1			1			
	単純ヘルペスウイルス	1		1	4				
	水痘・帯状疱疹ウイルス							1	1
	ヘルペスウイルス6/7	5	2	4	1	1		1	
	EBウイルス		2			1			
	サイトメガロウイルス			1					1
	ムンプスウイルス				1				
	麻疹ウイルス				1				
	風疹ウイルス				2	2			
	パルボウイルスB19	1	1	1	2				1
	RSウイルス	1	5	2	1			2	2
	ノロウイルス	6		4	1	1		3	
	ロタウイルス						1	1	
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3	6	3	5	7	7	1	3	1	
インフルエンザウイルスB	4	8	13	8	15	7	12	10	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	7	15	26	26	33	9	10	7	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス							1	1	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2014年2週～2014年9週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		262	20	24	27	22	6		3		3	8	20	2	6			50	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		4	2			2		1				3					5	
	ライノウイルス	3	1	3	1						1		2		1			6	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71		2																
	その他のエンテロウイルス	1				1													
	単純ヘルペスウイルス		3																3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														2				
	ヘルペスウイルス6/7										1		4						9
	EBウイルス												1						2
	サイトメガロウイルス																		2
	ムンプスウイルス													1					
	麻しんウイルス													1					
	風しんウイルス													4					
	パルボウイルスB19												5	1					
	RSウイルス		2	9															2
	ノロウイルス				15														
	ロタウイルス				2														
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	32													1					
インフルエンザウイルスB	70	1	3			1					1							1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	130		2															1	
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス				2															
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

<感染症豆知識>

インフルエンザ 2014 年 1 月現在

パンデミック (H1N1)2009 を引き起こしたインフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型は、2010/11 シーズンには季節性インフルエンザの流行パターンとなり、2011/12 シーズンの分離・検出報告数は 15、2012/13 シーズンには 162 と少なかったが、2013/14 シーズンに入り 2013 年 11 月以降増加が目立っている。2013 年 9～12 月までに分離・検出されたインフルエンザウイルス 676 のうち 53%を AH3 亜型が占め、AH1pdm09 亜型 24%、B 型 23%であったが、2014 年 1 月に分離・検出された 990 のうち 50%を AH1pdm09 亜型が占め、B 型 27%、AH3 亜型 23%と主流型が入れ替わっている (病原微生物検出情報：2014 年 2 月 5 日現在)。

抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランスでは、2013/14 シーズンに全国地方衛生研究所と国立感染症研究所で解析された AH1pdm09 亜型 298 株中 22 株がオセルタミビルおよびペラミビル耐性 (ザナミビルおよびラニナミビルには感受性) と報告されている (2014 年 2 月 3 日現在)。そのうち、15 株は札幌市で検出されている (他には山形県、神奈川県、三重県各 2 株、大阪府 1 株)。これらの耐性株の抗原性はワクチン株 A/California/7/2009 に類似しており、現行ワクチンが有効と考えられる。

インフルエンザ定点医療機関(約 5,000 ヲ所)からの定点当たり患者報告数は、2014 年第 5 週 (1 月 27 日～2 月 2 日) には 34.44 (患者報告数 170,403) と大きく増加しており、2013 年第 36 週以降 (9 月 2 日～2 月 2 日) に全国の医療機関を受診した患者数は約 462 万人と推計されている。また、入院サーベイランスでは、同期間に基幹定点医療機関(約 500 ヲ所)に入院したインフルエンザ患者は 3,166 人 (うち重症患者 478 人) と報告されている。

(文責 国立感染症研究所 山下和予)